

2005.3.12

平成16年度

北海道リハビリテーション支援センター

地域リハビリテーション広域支援センター(推進会議)

代表者会議

北海道リハ支援センター設立と

地域リハ広域支援センター指定

北海道リハビリテーション支援センター

石川 朗



北海道リハビリテーション支援センター設立までの経過

- 平成11年11月

「北海道地域リハビリテーション検討委員会」設置

道内の医療機関及びリハビリテーション従事者などのリハビリテーション資源等に関する調査を実施

- 平成12年9月

「北海道地域リハビリテーション協議会」設置

地域リハビリテーション広域支援センターの指定・整備計画

北海道リハビリテーション支援センターについて

(役割及び指定基準)

- 平成14年～

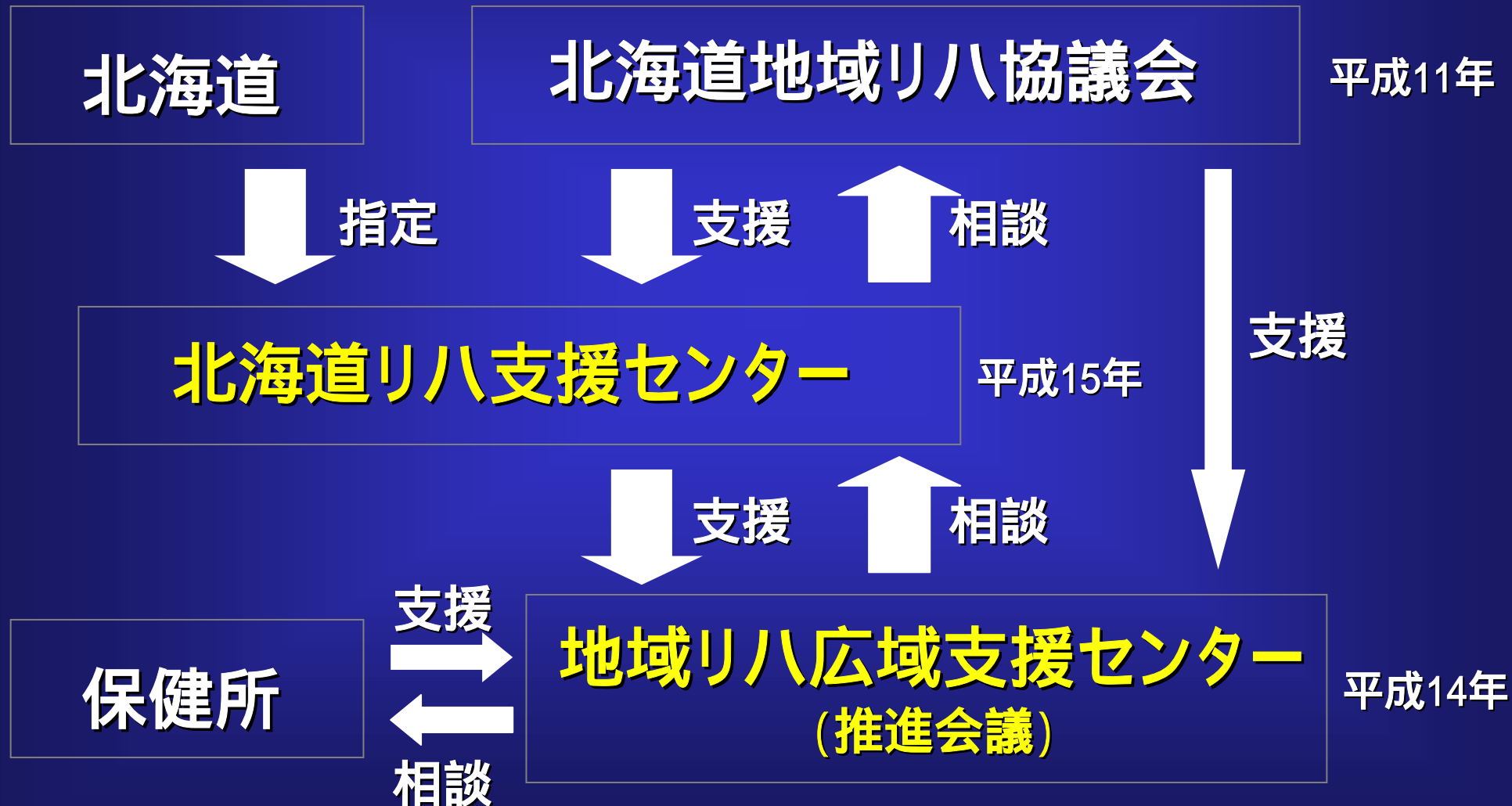
地域リハビリテーション広域支援センター指定開始

- 平成15年9月

北海道リハビリテーション支援センター指定

北海道総合在宅ケア事業団 & 札幌医科大学

北海道の地域リハ支援体制



北海道リハ支援センター活動

二次保健医療福祉圏に相当する地域に広域支援センターを作り，各都道府県にそれを統括するリハ支援センターをおく



- ・相談事業
- ・講師派遣事業
- ・研修事業
- ・調査研究事業
- ・広域支援センターの評価

北海道リハ支援センター活動（平成15年度）



講演会：北海道地域リハの現状



講習会：高齢者の摂食嚥下リハ



講習会：高齢者の呼吸リハ



講習会：高齢者の車椅子処方

地域リハビリテーション 広域支援センター

北海道保健医療福祉圏



第三次:6圏域

高度で専門的なサービス

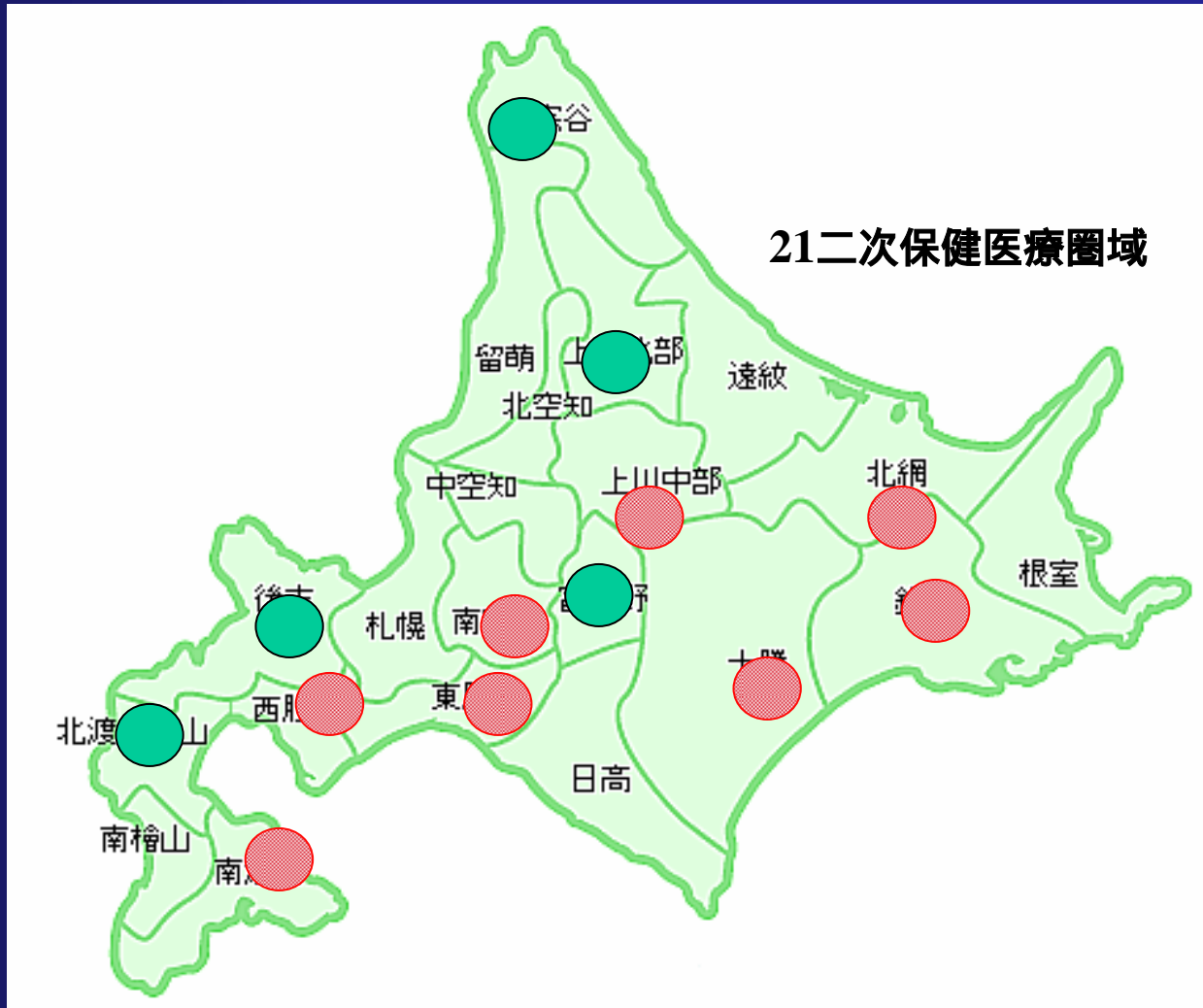
第二次:21圏域

第一次圏域の提供機能を支援
比較的専門性の高い
サービスの完結

第一次:212圏域

身近で頻度の高いサービス

地域リハ広域支援センターの設置



平成14年度

- 上川中部 (14/ 8/ 1)
- 南渡島 (14/ 8/ 1)
- 十勝 (14/ 9/27)
- 北網 (14/10/17)

平成15年度

- 西胆振 (15/ 8/29)
- 東胆振 (15/ 8/29)
- 南空知 (15/ 9/25)
- 釧路 (15/10/20)

平成16年度

- 上川北部 (16/ 7/ 6)
- 宗谷 (16/ 7/13)
- 北渡島檜山 (16/ 8/ 5)
- 後志 (16/ 9/25)
- 富良野 (16/10/18)

地域リハ広域支援センター

地域リハビリ推進会議

構成：医師会・歯科医師会
理学療法士会・作業療法士会
言語聴覚士の会・看護協会・他
協力病院
事務局：リハビリ実施医療機関

理事会

運営委員会

講師バンク

地域懇談会

支援



相談



市町村，介護老人保健施設，訪問看護ステーション，病院・診療所，在宅介護支援センター，介護特別老人ホーム，デイケア施設，療養型病床群，他

支援



住民



相談

患者の会
家族の会
ボランティアグループ

地域リハ広域支援センターの機能

1. 地域のリハ実施機関の支援

- 1) 地域住民の相談への対応に支援
- 2) 福祉用具, 住宅改修の相談への支援

2. リハ施設の共同利用

3. 地域のリハ施設従事者への援助・研修

- 1) 施設に出向いて行う援助
- 2) リハ従事者に対する研修

4. 地域レベルの関係団体, 友の会などからなる連絡協議会の設置・運営

地域リハ広域支援センターの設置(計画)

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	合計
指定圏域	南渡島 上川中部 北網 十勝	東胆振 釧路 南空知 西胆振	北渡島檜山 宗谷 後志 上川北部 富良野	北空知 中空知 日高 留萌 遠紋	南檜山 根室 札幌	
圏域数	4	4	5	5	3	21

地域リハ広域支援センターの詳細(1/2)

圏域名	南渡島	上川中部	十勝	北網	西胆振	東胆振	南空知	釧路
事務局	函館新都市病院	旭川リハ病院	北斗病院	北見赤十字病院	登別厚生年金病院	苫小牧東病院	岩見沢脳神経外科病院	釧路労災病院
施設基準	PT OT	総合リハ	総合リハ	総合リハ	総合リハ	総合リハ	PT OT	総合リハ
指定日	平成14年 8月1日	平成14年 8月1日	平成14年 9月27日	平成14年 10月17日	平成15年 8月29日	平成15年 8月29日	平成15年 9月25日	平成15年 10月20日
講師バンク	15名	9名	32名	22名	32名	15名	7名	24名

地域リハ広域支援センターの詳細(2/2)

圏域名	北渡島 檜山	上川北部	宗谷	後志	富良野			
事務局	八雲総合 病院	名寄市立 総合病院	稚内禎心 会病院	札幌病院	富良野協 会病院			
施設基準	PT	PT	総合リハ	総合リハ	PT OT			
指定日	平成16年 8月10日	平成16年 8月10日	平成16年 8月10日	平成16年 10月20日	平成16年 11月11日			
講師バンク	11名	20名	26名	25名	4名			

全国リハビリテーション支援センター センター長会議（2005.3.11 東京）

基調講演

1.平成17年度地域リハビリテーション支援事業の方向性について

日本リハビリテーション病院・施設協会会長
医療法人共和会小倉リハビリテーション病院
浜村明德先生

2.地域リハビリテーション支援体制整備推進事業について

厚生労働省老健局老人保健課
リハビリ推進係長 河原 智江先生

地域リハビリテーション整備推進事業各都道府県の実施状況(河原)

	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度 (予定)
実施都道府県	7	9	30	38	38	42	42*
都道府県リハビリテーション 協議会の設置	7	9	30	38	38	40	40
都道府県リハビリテーション 支援センターの指定		3	19	19	19	31	37
地域リハビリテーション広域 支援センターの指定 (カッコ内は指定数)		2 (7)	11 (50)	23 (100)	30 (159)	35 (213)	38 (254)
都道府県リハビリテーション 連携指針の策定		3	17	26	26	37	38

*印:平成16年度実施予定(H16.5.31現在)

北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、岐阜、静岡、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

地域リハ支援体制整備推進事業の継続が必要な理由(浜村)

1. 総合的で戦略的な、生活機能低下の予防、リハ、ケア提供には、それらを包括する地域リハが不可欠。
2. リハ前置・自立支援・生活の予後予測などリハの考え方、専門職・機関の関与なくして地域包括ケアは機能しない。
3. 情報の共有化や各種連携を図るには、地域におけるリハの拠点が不可欠。
4. 住みよいまちづくりには、地域住民(ボランティアなど)、専門職や関係機関・団体、行政が一体となって活動してゆかねばならず、地域リハの考え方がその中核。

地域リハ広域支援センターの現状と課題(浜村)

1. 広域支援センターの支援対象に混乱がある。(支援対象:従事者か利用者か)
2. 現時点での支援活動は限られているが、共同作業で連携が深まっている。
3. 保健所との連携が良好な場合は活動内容が広がっている。
4. 支援活動の目的が明確でなく場当たりのであることが多い。
5. 「リハ施設の共同利用」の実施は制度上困難である。
6. 市町村の地域保健活動との連携が乏しい。
7. 基幹型在宅介護支援センターとの連携が乏しい。
8. 医師会・かかりつけ医との連携が乏しい。
9. 圏域の連絡協議会活動の活性化に貢献できていない。
10. 地域住民に対する教育啓発活動・ボランティア育成活動は低調である。
11. マンパワーが不足している。
12. 担当圏域が広すぎる。
13. 活動予算が不足している。

全国リハ支援センター長会議 まとめ

1. 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業は、平成17年度は継続。次年度以降は未定。
2. 介護保険制度改革に伴う地域包括支援センター（仮称）の設置。地域包括支援センターの位置づけと地域リハビリテーション広域支援センターの協力体制は未定。
3. 地域リハビリテーション広域支援センターの情報交流、活動の連携を目的として、全国地域リハビリテーション支援推進事業連絡協議会（仮称）の設立。